



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	ヴェロスクロノス都農	A	● 0 - 7	<p>まずはじめに、九州サッカーリーグ連盟ならびに沖縄県サッカー協会の皆様、当日運営に携わっていただいた皆様、審判団の皆様に感謝申し上げます。</p> <p>第1節2節ともに振り返り九州リーグの厳しさを痛感した2試合となりました。</p> <p>クラブとして初の九州リーグ参入の為、プレースピードや会場の雰囲気、ピッチコンディションなど不慣れな部分が多くそこに上手く適応できなかった事が敗因の一つだと感じております。</p>
2	日本製鐵大分	H	● 1 - 2	<p>悔しいスタートとなりましたがチームとしてやれる部分と不足している部分が明確になった2試合をプラスに捉え九州リーグ初勝利に向けて次節から気持ちを新たにチーム一丸となり頑張っていきたいと思えます。</p> <p>最後に対戦していただきましたヴェロスクロノス都農様、日本製鐵大分サッカー部様、関係者の皆様ありがとうございました。</p>
3	川副クラブ	A	● 0 - 1	<p>開幕2節で出た課題を改善して臨んだ第3節。</p> <p>前2試合と比べるとチームとしてやるべきことが明確となり、良いゲームができていましたが、最後に勝負弱さが出てしまい悔しい結果となってしまいました。</p> <p>前半はボールを保持し、主導権を握る試合運びができていましたが、後半は攻撃が単調になってしまい、思うようなチャンスを作ることができませんでした。</p> <p>どちらが勝ってもおかしくない試合展開の中で1点を取り切る力をチーム全体として高めていき、次節の福岡ダービーでは必ず勝利を収めたいと思えます。</p> <p>最後に、対戦していただきました川副クラブの選手、スタッフ、関係者の皆様、運営頂きました佐賀県サッカー協会、審判団の皆様ありがとうございました。</p>
4	KMGホールディングスFC	H	● 1 - 2	<p>何としても勝ちがほしかった同県対決。またしても終盤の失点で負けてしまい悔しい結果となりました。</p> <p>ボールを握る時間帯をなかなか作ることができず、相手の得意とする展開でサッカーをしてしまい自分達の良さを出し切れない試合となってしまいました。</p> <p>4連敗となかなか結果に繋がりませんが、毎試合学びがあり少しずつチームとしてやるべき事が明確になってきているので、次は強豪との試合ですが必ず勝利を収めたいと思えます。</p> <p>最後に対戦していただきましたKMGホールディングスFCの選手、スタッフ、関係者の皆様、運営に協力頂きました福岡県サッカー協会の皆様ありがとうございました。</p>
5	FC延岡AGATA	A	● 1 - 3	<p>開幕から4連敗と苦しい状況の中で迎えた今節。またしても勝利することはできませんでした。</p> <p>しかし、これまでの4節で出た課題をしっかりと修正し、大雨というのピッチコンディションが悪い中でも自分たちのサッカーができたことは大きな収穫となりました。</p> <p>徐々にチームとしての「やりたいこと」と「やるべきこと」が明確になってきているので、後はこれを結果に繋げて次節、初勝利を必ず収めたいと思えます。</p> <p>最後に、対戦いただきましたFC延岡AGATAの選手、スタッフ、関係者の皆様、宮崎県サッカー協会の皆様、ありがとうございました。</p>
6	海邦銀行SC	H	△ 1 - 1	<p>ようやく掴み取った勝ち点1。しかし、勝ち切れた内容だったため悔しさの残る一戦となりました。</p> <p>立ち上がり早々に失点をしてしまいました。そこからは試合の主導権を握り攻め続ける展開に。</p> <p>しかし、最後のフィニッシュのクオリティが低く、決定機を何度も外してしまい引き分けという結果に終わりました。</p> <p>かなり悔しさの残る試合となりましたが、チームとしての課題が明確になり、良い変化のきっかけになったのではないかと思います。</p> <p>次節こそ必ず勝利するために、また気持ちを新たに良い準備をしていきたいと思えます。</p> <p>対戦していただきました海邦銀行SCの選手、スタッフ、関係者の皆様、福岡県サッカー協会、審判団の皆様ありがとうございました。</p>
7	Brew KASHIMA	A	● 1 - 2	<p>九州リーグ参戦後、初の先制したゲーム。しかし、終盤に2失点をしてしまい経験値の差を感じさせられる試合となってしまいました。</p> <p>前半の内容はこれまでの試合の中で1番と言って良いほどの内容で、終始チームのしたいボールポジションで相手を圧倒することができました。</p> <p>しかし後半、攻撃が単調になってしまい結果的にチームの良さを出しきれずに一瞬の隙をつかれて逆転負け。勝てる可能性も十分にあってだけに、とても悔しい一戦となりました。</p> <p>ただ、チームとして少しずつですが確実に積み上げることができているので、次節鹿児島集中開催では必ず勝利を収め後期に良い形で繋げていきたいと思えます。</p> <p>対戦していただきましたBrew KASHIMAの選手、スタッフ、関係者の皆様、佐賀県サッカー協会、審判団の皆様、本日はありがとうございました。</p>



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
8	NIFS KANOYA FC	H	△ 1 - 1	悔しい引き分けとなった一戦。先制したにも関わらず、追加得点が取れずに非常に勿体無いゲームとなってしまいました。 前半から数多くチャンスを作るも、なかなかものにできずに歯がゆい展開が続く中、後半狙い通りの形で先制。 しかし、その後チャンスシーンを何度も迎えますが、ラストパスやシュートの精度が低く追加点がとれずに、カウンターから失点。その後も決め切れずに1 - 1でゲームセット。 絶対に勝たなければいけない試合で、勝ち切れない弱さが出てしまい、非常に悔しい結果となってしまいました。次節以降は上位チームとの試合も続くため、チームとして、もう一度気を引き締め直し、良い準備をしていきたいと思えます。 対戦していただきましたNIFS KANOYA FCの選手、スタッフ、鹿児島県サッカー協会の皆様、審判団の皆様ありがとうございました。
9	ジェイリースFC	A	● 1 - 2	勝利まであと一歩。上位チーム相手に狙い通りの守備でギリギリまで追い込むことができましたが、力の差を最後見せつけられた試合となりました。 ボールを握られる前提で守備ブロックを形成し、奪ってからのカウンターで仕留めるという戦略が後半途中まで上手くハマり、セットプレーから得点。 狙い通りの試合展開で終盤までゲームを進めることができましたが、最後集中力の差が出てしまい、逆転されてしまいました。 ゲームとしては負けてしまいましたが、チームとして闘う姿勢やコントロールされた守備の部分では大きな収穫のあるゲームとなりました。 前期なかなか勝ち点を積み上げることができませんでしたが、後期はしっかりと勝ち点を積み上げ、残留そしてチーム目標の4位以上を目指し、チーム一丸となり頑張っていきたいと思えます。 対戦していただきましたジェイリースFCの選手、スタッフ、鹿児島県サッカー協会の皆様ありがとうございました。
10	ヴェロスクロノス都農	H	● 0 - 3	成長を感じた後期開幕戦。前期の開幕戦で7失点喫してしまった相手に対して、敗戦はしたものの手応えのある内容のゲームができました。 前期、真っ向勝負を挑みボールを終始握られるゲーム内容になってしまった経験から、今節では守備ブロックを形成し、あえてボールを持たせながら、組織的な守備でボールを奪い、ロングカウンターを狙うゲームを目指し挑みました。 この戦略が上手くはまり、結果的にオウンゴール等で3失点はしてしまったものの、リーグ首位の相手に対してチャンスシーンも多く作れ、チームとしての成長を実感できるゲームとなりました。 ゲームとしては負けてしまいましたが、前期勝てないながらもチーム力を高めてきた結果が少しずつ結果に繋がっていると実感できる内容だったのではないかと思います。 ですが次節以降は残留のためには、勝利が必須となってくるため、内容だけでなく結果にこだわり戦っていききたいと思えます。 対戦していただきましたヴェロスクロノス都農の選手、スタッフ、関係者の皆様、大分県サッカー協会の皆様、審判団の皆様ありがとうございました。
11	日本製鉄大分	A	● 0 - 3	またしてもチームとしての脆さが出てしまった後期第11節。 前期、押し込みながらもゴールが奪えず敗戦してしまった相手に対して、またしても同じような負け方を喫してしまいました。 相手のロングボール戦術に対して、守備が上手くハマらず押し込まれる展開が続いた前半。危ないシーンを何度か作られながらも何とか無失点で凌ぎ後半へ。 後半は立ち上がりから主導権を握り、再三チャンスを作りながらも決定的なシーンを何度も決めきれずカウンターから失点。 その後、完全に全体の集中力が切れてしまい終わってみれば0 - 3。 先制点が取れていれば勝っていたかもしれないゲームをまたしても落としてしまい、前期と同じような展開での悔しすぎる敗戦となってしまいました。 チームとして、踏ん張り切る力や勝負を決め切る力などチーム力を高めていかなければ、このままでは本当に降格の可能性も出てきてしまいます。 次節のホーム戦何としても勝つために気持ちを切り替えて、良い準備をしていきたいと思えます。 対戦していただきました日本製鉄大分サッカー部の選手、スタッフ、関係者の皆様、大分県サッカー協会の皆様、審判団の皆様ありがとうございました。



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
12	川副クラブ	H	○2-1	<p>ついに待ち望んだ待望の瞬間。九州リーグ参入後、初の勝利を収めることができました。試合序盤からボールを支配し、狙い通りの展開で先制に成功。しかし、その後守備ラインが下がってしまったことで押し込まれる展開が続き、危ないシーンを何度か迎えながらも耐え凌ぎ後半へ。後半は序盤からチャンスを数多く作るも、またしても決め切ることができず迎えた試合終盤。PK&退場で同点、そして10人での戦いを強いられる展開に。しかし、勝ち点3を取りに行くために前からプレッシャーをかけ、ショートカウンターから勝ち越し。これがラストプレーとなり、前期とは全く逆の展開で勝利を掴む事ができました。なかなか勝利できずに苦しんだここまで。ようやくチームとして1つになることができた試合だったのではないかと思います。しかし、大事なのは次節以降。この良い勢いのまま残りの試合も勝ち点を積み上げて残留そして上位への食い込みを狙っていきます。対戦していただきました川副クラブの選手、スタッフ、関係者の皆様ありがとうございました。最後に福岡県サッカー協会、審判団の皆様、運営に携わって頂きました皆様ありがとうございました。</p>
13	KMGホールディングスFC	A	●1-7	<p>天国から地獄へ突き落とされた今節。前節初勝利を収め、連勝を目指して臨みましたが、情けない、悔しすぎる結果となってしまいました。試合序盤から自分たちのミスから立て続けに失点し前半だけで5失点。その後、後半1点を返すもその後の追加点は奪えず、終わって見れば1-7の大敗。チームとして脆さ。そして弱さを改めて痛感される内容となってしまいました。残留に向けいよいよ後がなくなってきた残り5節。何がなんでも勝利をするために、チームとして再度修正をかけ、死に物狂いで残りの試合を戦いたいと思います。対戦していただきましたKMGホールディングスFCの選手、スタッフ、関係者の皆様ありがとうございました。</p>
14	FC延岡AGATA	H	●0-5	<p>力の差を見せつけられた敗戦。前期に1-3で敗戦した相手に、0-5と大きな差を感じさせられた試合となりました。前半立ち上がりから相手のテンポの早いポジションに対し、守備が上手くハマらずに押し込まれる展開に。何度もチャンスを作られながらもGK宮脇を中心に何とか0-1で抑えて後半へ。後半立ち上がりは、前半課題だった守備を改善することでチャンスシーンも何度か作り、決定機を迎えるシーンもありましたが得点に繋げることができず、試合終盤、集中力が切れてしまい連続3失点。悔しいですが、終始サッカーの完成度の差を感じさせられた試合となりました。しかし、残留するために下を向いている時間はありません。次節は、残留をかけた大切な一戦のため、気持ちを切り替えて、また良い準備をしていきたいと思います。対戦していただきましたFC延岡AGATAの選手、スタッフ、関係者の皆様ありがとうございました。最後に、試合運営をして頂きました福岡県サッカー協会、審判団、筑紫高校サッカー部の皆様ありがとうございました。</p>
15	海邦銀行SC	A	△0-0	<p>善戦しながらも1点が遠く悔しい引き分けとなった一戦。昇格組同士、そして残留争いを共にしている海邦銀行さんとの試合。立ち上がり早々からビッグチャンスを作るも惜しくも決めることができず。その後も幾度となくチャンスを作るも肝心のシュートが制裁をかき0-0で前半を折り返す。後半は、お互い暑さと疲労もあり、オープンな展開が多くなる中、試合終了間際までチャンスは作り続けたが、1点が遠く悔しい引き分けとなりました。残留をかけた大事な一戦だったため、何としても勝利が欲しかっただけに悔しい結果となってしまいました。今季初の無失点ゲームだったのは収穫だったのではないかと思います。まだまだ残留に向けて、厳しい戦いが続きますが次節必ず勝利して、残留を一気に近づけられるよう、良い準備をしていきたいと思います。対戦していただきました海邦銀行SCの選手、スタッフ、関係者の皆様、審判団、沖縄県サッカー協会の皆様ありがとうございました。</p>
16	Brew KASHIMA	H	○1-0	<p>チームとしての成長を実感できた今節。2試合連続のクリーンシートで今期2勝目を上げることができました。同様、ゲームの入りからチームとして攻守で勢いに乗ることに成功し、早い時間帯に先制。その後、何度もチャンスを作るも最後の最後で決めきれずに1-0で折り返し。後半も前半同様、チャンスは何度も作りながらも決定機をものにできずに試合終盤へ。パワープレイをしてくる相手に押し込まれながらも、チーム全員で最後の最後まで集中を切らさずに守り切り、無失点で勝利することができました。厳しい残留争い中、2試合連続の無失点。そして、上位チームに勝利することができ、チームとしての「負けたくない強さ」ができてきたのではないかと思います。しかしながら、まだ残留が決まった訳ではありません。次節の鹿屋戦に向けて、この8月で良い準備をし、何としても勝利を収め、残留を決めたいと思います。対戦していただきましたBrew KASHIMAの選手、スタッフ、関係者の皆様ありがとうございました。最後にホーム開催運営に協力頂きました、福岡県サッカー協会、福翔高校サッカー部の皆様ありがとうございました。</p>



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
17	NIFS KANOYA FC	A	○ 3 - 2	<p>なんとか掴み取った悲願の残留。約1ヶ月の中断期間があり、チーム全員が集まったの活動がなかなかできない中で迎えた一戦。</p> <p>前半から立て続けにチャンスを作るも、今シーズンを通して課題となり続けた決定力不足がこの試合でも出てしまい、1点が奪えない苦しい展開に。</p> <p>それでも失点0で迎えた後半。開始早々に一瞬の気の緩みから痛恨の失点。そこから、相手にペースを握られてしまい苦しい展開が続くも何とか凌ぎ、セットプレーから1点を奪い同点に。</p> <p>その後、勢い止まらず一気に2得点を奪い、最後PKで失点はしたものの、3-2で逆転勝利することができました。</p> <p>今シーズンを通して、一度もできなかった逆転勝利を大一番で達成することができ、チームの底力を感じられた試合となりました。</p> <p>当初目標としていた、4位以内という目標は達成できなかったものの、多くのチームが苦戦する1年目をなんとか残留することができ、嬉しく思います。</p> <p>明日は上位チームとの最終戦ですが、来シーズンに繋がるゲームができればと思います。</p> <p>対戦していただきましたNIFS KANOYA FCの選手、スタッフ、関係者の皆様ありがとうございました。</p>
18	ジェイリースFC	H	● 1 - 9	<p>課題を突きつけられた一戦。</p> <p>前日の試合で、残留が決まったこともあり、スタートメンバーを約半分変えて臨んだ一戦でしたが、前期の接戦とは打って変わって惨敗という結果に終わってしまいました。</p> <p>前半開始から、相手のサイドでの崩しに対し、守備の整理ができずに何度もチャンスを作られ苦しい展開に。何とかギリギリのところを凌いでいましたが、一種の隙を突かれ失点。</p> <p>その後前半は、3失点はしたものの、何とか耐えていましたが、後半、一気にチームの勢いが落ちてしまい終わってみれば9失点。</p> <p>1点は返したものの、前期1点差に迫る好ゲームができたのに対して、悔しすぎる最終節となってしまいました。</p> <p>ですが、ゲームの中では、上位チームに対してボールを安定して握るシーンや良い形で崩すシーンも何度か作れていたため、収穫もあった一戦となりました。</p> <p>なかなか九州リーグでの戦い方に適応できなかった今シーズンでしたが、終盤にかけて徐々に九州リーグでも十分に闘えるチームに成長できたのではないかと思います。</p> <p>来シーズンは、今シーズンの悔しさを晴らすべく、もう一度このオフシーズンに全ての部分を見直し、各個人、そしてチームとしてさらに成長していきたいと思います。</p> <p>対戦していただきましたジェイリースFCの選手、スタッフ、関係者の皆様ありがとうございました。</p> <p>また、九州リーグ開催にあたりご尽力いただきました、九州サッカーリーグ連盟をはじめとする関係者の皆様、約半年間ありがとうございました。</p> <p>また来シーズンも宜しく願いいたします。</p>